

2022年3月18日

株式会社ADEKA

カーボンニュートラルの推進に向けた新たな組織体制を構築

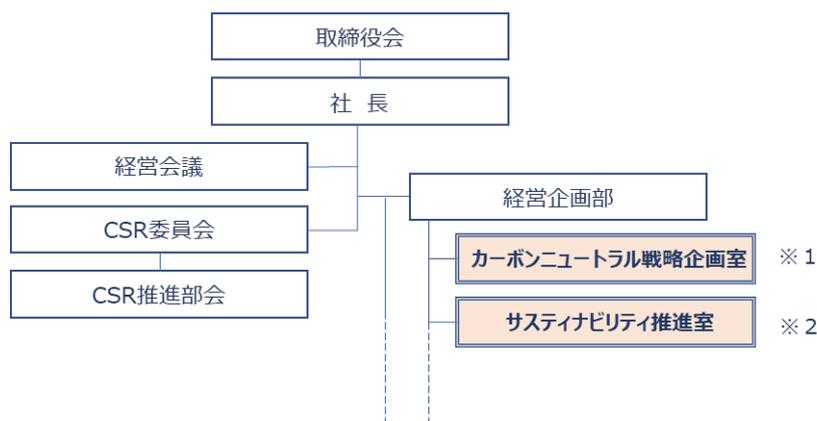
株式会社ADEKA（代表取締役社長：城詰 秀尊）は、2050年：カーボンニュートラルの実現とサステナブル経営による持続的な成長を目指し、グループ全体で機動的に取り組みを推進していくことを目的に、「カーボンニュートラル戦略企画室」と「サステナビリティ推進室」を2022年4月1日付で設置することを決定しましたのでお知らせいたします。

昨今、気候変動による自然災害が頻発し、人々の日常が脅かされるだけでなく様々な影響を及ぼしており、地球規模で気候変動問題解決に向けた取り組みが急務です。世界では、2050年：カーボンニュートラルを実現するべく、温室効果ガス（GHG）削減、環境負荷低減など、具体的に取り組みを加速させていくフェーズに移行しています。

ADEKAグループでは、「2050年：カーボンニュートラルの実現」を目指しています。機動的に取り組むための組織体制を構築し、事業活動に伴うGHG排出量削減はもちろんのこと、これまで培ってきた技術力でイノベーションを発揮し、全く新しい技術・製品でGHG削減に貢献することで、社会価値と経済価値双方の最大化を追求してまいります。

ADEKAグループは、経営とCSRの統合を通じて、持続可能な社会の実現とグループの持続的成長、ひいては豊かなくらしを目指してまいります。

◆ 当社の新組織体制



※1 「カーボンニュートラル戦略企画室」は、これまで社内の生産・研究などの各部門で推進してきた施策を統括し、カーボンニュートラル実現に向けた戦略立案・実行を総合的に展開する役割を担います。

※2 従来の「法務・広報部 CSR推進グループ」を発展的に解消し、経営企画部の直下組織として「サステナビリティ推進室」を設置します。同室は、経営とCSRを統合するという中期経営計画『ADX 2023』を踏まえて、活動目標・計画のマネジメントなどの当社グループのCSRならびにサステナビリティの推進全般を担います。

〈次ページに続く〉

補足1：ADEKAグループのサステナビリティ活動の取り組みについて

ADEKAグループでは、「グループCSR優先課題」に基づき、2030年のありたい姿「ADEKA VISION 2030 ～持続可能な社会と豊かなくらしに貢献する Innovative Company～」の達成に向けたKPIを設定し、取り組みを進めています。中期経営計画『ADX 2023』（2021-2023年度）は、「ADEKA VISION 2030」実現のためのファーストステップと位置付け、社会価値と経済価値の最大化による企業価値向上を目指すべく、経営とCSRの統合を推進しています。

推進体制については、2019年に社長を委員長とするCSRの意思決定機関「CSR委員会」と全社的な推進を行う「CSR推進部会」を設置、「法務・広報部 CSR推進グループ」がCSR推進を担ってきました。

経営とCSRの統合の確度を高め、持続可能な社会と企業の持続的成長双方を果すべく、経営企画部の直下組織として「サステナビリティ推進室」を設置することとしました。

補足2：ADEKAグループの気候変動問題への取り組みについて

ADEKAグループは、気候変動問題を企業の責務だけでなくビジネスチャンスとして捉え、取り組みを強化しています。2021年4月には「2050年：カーボンニュートラル実現」を宣言、2022年2月には、TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）への賛同を表明しました。

現在、省エネルギー推進、気候変動シナリオ分析に基づく事業の変革をはじめとする「事業活動に伴うGHG排出量削減」と、環境貢献製品の拡大などの「技術・製品の創出によるGHG削減貢献」でカーボンニュートラルを実現するための施策立案・実行を進めています。

- 詳細は、当社WEBサイト投資家情報ページ内「[ADEKAグループ中期経営計画『ADX 2023』](#)」および「[ADEKAグループ気候変動への取り組み](#)」資料をご参照ください。

以上

■本リリースについてのお問い合わせ先

株式会社ADEKA 法務・広報部 総務・広報グループ Tel:03-4455-2803